技管協発第24020105号

令和６年２月５日

廃棄物処理施設技術管理者担当部署長　殿

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会

会　長　　柳　井　　薫

（公印省略）

**一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会へのご入会について（お願い）**

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、廃棄物処理施設技術管理者は廃棄物処理法で定める技術上の基準に係る違反が行われないよう、職員を監督１）しなければならないとされており、技術管理者が、廃棄物処理施設を安全で安定的・効率的に管理するには、高度な専門的知識と処理システム全体を見通した経営管理能力が必要です。

当協会は技術管理者を中心とした会員数約2,000名の公益的団体で、最新の法制度、維持管理技術に関する情報を提供し、技術管理者等をフォローアップしております。

当協会の活動に賛同いただける方なら、官民、個人、法人（団体）に限らずどなたでも会員としてご入会いただけます。廃棄物処理に関する継続的な学習の場として、また、技術管理者等同士の連携・情報共有の活用の場として、是非、当協会にご入会いただきたく、関係書類をご案内いたします。

ご多用中、恐縮に存じますが、ご検討、ご入会を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

１）廃棄物処理法第21条第2項

技術管理者は、その管理に係る一般廃棄物処理施設又は産業廃棄物処理施設に関して第八条の三第一項又は第十五条の二の三第一項に規定する技術上の基準に係る違反が行われないように、当該一般廃棄物処理施設又は産業廃棄物処理施設を維持管理する事務に従事する他の職員を監督しなければならない。

【お問合せ】

**一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会**

事務局担当：清水、山根、古澤

東京都大田区大森北4-8-1　ユアサ大森ビル6階　(〒143-0016)

TEL：03（6450）0981 /FAX：03（6450）0986

E-mail：gikankyo-info01@jaem.or.jp

URL　　 https://jaem.or.jp/

当協会は技術管理者を中心とした公益的団体で、「季刊 環境技術会誌」や講習会を通じて一般紙等の媒体では入手が難しい、法制度の動向、最新の維持管理技術等に関する情報を提供し、技術管理者等のフォローアップを行っております。

官民、個人、法人（団体）に限らず、どなたでも会員としてご入会いただけます。

廃棄物処理施設技術管理者は、社会のニーズを的確に捉え、廃棄物処理法で定める技術上の基準に係る違反が行われないよう、職員を監督しなければなりません。また、廃棄物処理施設を安全で安定的・効率的に管理し、絶えず高度な専門知識の習得に努め、処理システム全体を見通した経営管理能力が求められます。

いま、気候変動による影響が深刻化するなかで、2050年カーボンニュートラルに向けた法制度の整備・技術開発が加速しています。一廃・産廃の処理分野でもDX等を活かし、脱炭素、CO２ 削減の対応が求められています。

時代の転換期において、当協会のもとに一同が会し情報を共有し、明るい未来・社会づくりへ先導がされますことを期待しております。

ご入会後は、技術管理者等同士の連携・情報共有の活用の場として、廃棄物処理に関する継続的な学習の場として、ご活用いただければと存じます。

この機会に、ご検討賜りご入会をいただければと存じます。

　　　令和６年２月５日

　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　会　　長　　柳　井　　薫

東京都大田区大森北4-8-1 ユアサ大森ビル6階(〒143-0016)

電話：03（6450）0981 /FAX：03（6450）0986

E-mail：gikankyo-info01@jaem.or.jp

URL　　 https://jaem.or.jp/

事務局担当：清水、山根、古澤

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

技術管理者等のフォローアップのための事業活動

**◆普及啓発**

１．環境技術会誌の季刊発行（4月、7月、10月、1月）

廃棄物処理法関連情報、国・地方自治体等の廃棄物行政情報、廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、廃棄物処理に関する内外の情報等を提供しています。

２．ＪＡＥＭメールマガジンの配信（毎月）

学識経験者のコラム、国内外の廃棄物最新情報、行政の動向、廃棄物処理法の逐条解説、プラスチック循環促進法解説、廃棄物史等の読み物、関係団体のお知らせ等々をお届けします。

３．ホームページによる情報の提供　https://jaem.or.jp/

当協会の広報並びに会員の情報交流の場として、当協会の活動案内、廃棄物関係のニュース、環境省等の行政情報を提供しています。

４．廃棄物処理に係る書籍の発行

技術管理者の手引き／新しいし尿処理施設／新しいごみ処理施設／汚泥処理の悩みに答えるＱ＆Ａ(監修)

**◆人材育成**　**※年間行事予定参照**

１．中央研究集会　＊地区協議会協賛

最近の行政動向、最新の維持管理技術や話題の紹介を通じ、廃棄物処理施設技術管理者とその有資格者の資質と社会的地位の向上を目的として、毎年1回、研究集会を開催します。

２．会員無料Web講習会

技術管理者及び施設の維持管理従事者等の継続的研さんを目的として、最新の行政・技術の動向、施設の維持管理等を内容とする研修会等を開催します。

３．廃棄物処理施設技術管理者等継続学習制度（以下、技術管理者等CPD制度という。）の実施

技術管理者等の技術レベルと社会的信頼性を高めることを目的として、当協会と関連学協会が有する学習プログラムを積極的に活用し、技術管理者等を対象としたCPDシステムを実施しています。

**◆表彰**

１．年間論文賞

最優秀賞、優秀賞、奨励賞、功労賞、特別賞）会員が機関誌、地区協議会の会誌及びその他 当協会の活動の場で発表した論文を対象に表彰しています。

２．会長感謝状（自薦も受け付けています。）

永年に亘って廃棄物処理事業の推進に功労のあった会員に対して当協会会長より感謝状を贈呈しています。

３．環境大臣表彰の被受賞者推薦

４．生活と環境全国大会大会長感謝状の被受賞者推薦

**◆調査・研究**

廃棄物処理施設の維持管理に関する調査研究に取組み、その成果を会員に周知します。

実績：廃棄物処理施設等事故事例調査／灰溶融施設運転管理実態調査／ガス化溶融施設実態調査／　長期包括運営委託事業実態調査など

**◆技術支援・相談業務**

　専門家による技術相談により、廃棄物処理・運営を支援します。

【令和６年度　年間行事予定】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　程 | 行事名など | 備　考 |
| 4月 | 環境技術会誌195号発行特集「DXの進展―廃棄物処理分野におけるDXと近未来」 |  |
| 7月 | 環境技術会誌196号発行特集「 DXの進展―廃棄物処理の効率化・運転の最適化」 |  |
| 10月 | 環境技術会誌197号発行特集「 DXの進展」（予定） |  |
| 10月30日(水)、31日(木) | 第69回生活と環境全国大会（協賛）＊一般財団法人日本環境衛生センター主催 | 於：神奈川県横浜市予定詳細は会誌195～196号及びHPでご案内 |
| 10月～11月予定 | 第45回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会 | 詳細は会誌196(7月)号及びHPでご案内 |
| 10月～11月予定 | 技術管理者等スキルアップ研修会＊一般財団法人日本環境衛生センター（共催） | 於：福岡県・岡山県予定詳細は会誌196(7月)号及びHPでご案内 |
| 令和7年1月 | 環境技術会誌198号発行特集「 DXの進展」（予定） |  |
| 2月予定 | 会員無料Web講習会 | 詳細は会誌197～198号及びHPでご案内 |

【会員区分および会費】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会員区分 | 登録条件 | 会費（年額） |
| 正会員 | 個人会員Ａ： | 会費を個人が負担する会員(支払人名が法人又は団体の場合は個人会員Bとする) | ７，０００円 |
| 個人会員Ｂ：  | 会費を法人又は団体が負担する会員 | １０，０００円 |
| 団体会員Ａ：  | 会費を法人又は団体が負担、2名まで登録可能（ただし　１事業所、１施設単位とする） | ３０，０００円 |
| 団体会員Ｂ：  | 会費を法人又は団体が負担、6名まで登録可能（ただし　１事業所、１施設単位とする） | ５０，０００円 |
| 賛助会員 | 当協会の活動を賛助いただける個人及び法人 | ５０，０００円／１口 |

●年度途中のご退会の場合は、会費の返金は承っておりません。

●会費規程により、会費の納入は年１回とし、９月末日までに納入するものとなっています。

沿　革

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会は、日本廃棄物処理施設技術管理者協議会（創立年月日：昭和42年11月24日）を発展的に解散して、平成21年7月1日に設立されました。

**[実 績]**＊詳細は、ＨＰ会員のコーナーにて閲覧ができます。

●季刊 環境技術会誌

|  |  |
| --- | --- |
| **令和６年194号**特集「廃棄物適正処理―最終処分場の現状と今後」6編〇特別企画・パネルディスカッション「廃棄物処理分野におけるDX・労働生産性・人材」 | **令和５年193号**特集「廃棄物適正処理―廃棄物適正処理―中間処理施設の現状と今後 その２」８編〇廃棄物・資源循環分野におけるGXの推進について |
| **令和５年192号**特集「廃棄物適正処理―中間処理施設の現状と今後 その１」6編 | **令和５年191号**特集「廃棄物適正処理―CN型の廃棄物処理システム・施設の現状と今後」５編〇令和５年度環境省予算のポイント |
| **令和５年190号**特集「脱炭素―廃棄物高効率発電等のエネルギー利用の動向」5編〇特別企画・パネルディスカッション「廃棄物処理施設で抱える問題とは何か」 | **令和４年189号**特集「脱炭素―廃プラスチックリサイクルの現状と今後の動向」10編 |
| **令和４年188号**特集「脱炭素―廃棄物からの物質回収技術の動向」５編特集「廃棄物処理施設と市民啓発・環境教育」４編 | **令和４年187号**特集「脱炭素―廃棄物系バイオマス利用技術の動向（その２）」5編〇令和4年度環境省予算のポイント〇プラスチック資源循環法の施行について |

●廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会

令和５年度実績例【**今なぜGXなのか―廃棄物処理の脱炭素化**】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 講演１ | 講演２ | 講演３ | 講演４ | 講演５ |
| 演題 | GX実現に向けた廃棄物・資源循環分野のおける環境省の取組 | 脱炭素型廃棄物処理システムに求められる三つのX（エックス） | プラスチックの熱分解・油化技術の現状と今後の動向 | リチウムイオン電池のリサイクル技術の展望 | 川崎市の脱炭素チャレンジと廃棄物処理施設 |
| 講師 | 環境省環境再生・資源循環局 | 国立環境研究所領域長 大迫 政浩氏 | 大阪大学教授 宇山　浩氏 | 早稲田大学教授 大和田秀二氏 | 川崎市環境局室長 井田　淳氏 |

＊令和４年 第43回技術管理者中央研究集会【脱炭素―廃プラスチックリサイクルについて考える】

●会員無料Ｗｅｂ講習会

令和５年度実績例【**廃棄物処理に関わる最近の動向―DX・労働生産性・人材**】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 基調講演１ | 基調講演２ | 基調講演３ | パネルディスカッション |
| 演題 | 廃棄物処理施設におけるDXの動向 | 一般廃棄物処理施設におけるDXの取組み事例 | ～製造業の技術を応用～廃棄物処理業者様向け現場DXの取組事例 | 廃棄物処理分野におけるDX・労働生産性・人材―DX導入等による安全・安定稼働させるための取組/魅力ある職場つくりについて |
| 講師 | 立命館大学教授 橋本 征二氏 | 日立造船㈱部長 飯尾 和人氏 | 大手自動車メーカ三村 健志朗氏 | 司会：藤原周史氏パネラー：飯尾和人氏/高橋潤氏/橋本征二氏 |

＊令和４年度実績例【廃棄物処理に関わる最近の動向】

|  |  |
| --- | --- |
| **一社）廃棄物処理施設技術管理協会事務局あて** | **FAX 03（6450）0986　まで送信ください（送付状不要）** |
| **団体会員　入会申込書** | HPより入力用フォームがダウンロードできます太枠内をご記入下さい。 |
| 会員区分（右欄該当の項目に○印） Ａは２名まで、Ｂは６名まで登録可能 | 団体会員Ａ | / 　　団体会員Ｂ |
|  |
| ※会員番号 |  | ※入会年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 | ※は事務局記入欄 |
|  |
| 注：過去に個人会員であった方のお申込みは右欄に個人会員番号を記入してください | № |
| ふ り が な |  | 代表者氏名役　　　職 |  |
| **団　体　名** |  |
| **所　在　地** | 住　　所 | 〒 |
| 電話番号 | （　　　　） | FAX番号 | （　　　　） |
| **連絡先窓口** | 担当者氏名 |  | 所属部署 |  |
| **業種区分**（該当の項目に○印） | 国・都道府県・市町村（一部事務組合）・維持管理業・処理処分業・民間企業・大学、その他の団体（　　　　　　　　　）・その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| **E-mail** | 　　　　　　　　＠ | **当協会からの情報発信および****メールマガジン配信のため使用させていただきます** |
| **団体会員登録者記入欄**団体会員Ａは**２**名まで、団体会員Ｂは**６**名まで登録できます。登録される方の氏名を下欄にご記入ください。なお、登録者が廃棄物処理法第21条に規定する技術管理者若しくは同資格者（以下、「技術管理者等と云う。」）の場合は、ａ～ｇの記号（下欄の資格に該当する記号を参照）を○で囲んでください技術管理者もしくは技術管理者の資格者以外のかたは氏名のみを記入してください。 |
| 登録者の氏名 | 技術管理者等の資格区分 | 同 資格取得等年月日 | 同 認定・修了番号等（該当規則の号） |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
|  | **A、B**（a　b　ｃ　d　e　f 　g ）、 **C** | 　 　年 　　月 　　日 |  |
| **Ａ　廃棄物処理施設技術管理者**（現に廃棄物処理法第21条の規定に基づき技術管理者として任命されている方）**Ｂ　厚生大臣認定講習修了者若しくは廃棄物処理施設技術管理士**（**a**ごみ処理施設技術管理（者）士　**b**し尿・汚泥再生処理施設技術管理（者）士　**ｃ** 破砕・リサイクル施設技術管理士　**d** 産業廃棄物中間処理施設技術管理（者）士　**e** 産業廃棄物焼却施設技術管理（者）士　**f** 最終処分場技術管理（者）士　**g** 有機性廃棄物資源化施設技術管理士）**Ｃ　上記Ｂ以外の廃棄物処理法施行規則１７条第1号から第４号の資格者**　同条の該当号数を表右欄に記載してください。 |
| **機関誌『季刊　環境技術会誌』送付先及び部数** | **配布希望部数** | **部** |  |
| 機関誌は、会員区分Ａは**２**冊まで、Ｂは**６**冊まで配布可能です。ただし、送付先は次のいずれか１箇所となりますのでご了承ください。該当に✓若しくは送付先をご記入ください。 |
| [ ]  **上記の連絡先窓口（担当者宛）**[ ]  **その他送付先　〒** |
|  |
| **年会費の請求先**（該当に✓印）[ ]  **上記の代表者あて**[ ]  **上記の連絡先窓口（担当者宛）**[ ]  **その他**（住所、所属、請求宛名）〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 備考欄：ご在会中に変更が生じた場合は、「団体会員変更届」で変更をお知らせください。https://jaem.or.jp/?page\_id=35注）本書に記載いただいた個人情報は、当協会の活動に係るご連絡用のみに使用させていただきますことを予めご了承ください。 |
| 連絡事項 |  |

23040103

|  |  |
| --- | --- |
| **一社）廃棄物処理施設技術管理協会事務局あて** | **FAX 03（6450）0986　まで送信ください（送付状不要）** |
| **個人会員　入会申込書** | HPより入力用フォームがダウンロードできます太枠内をご記入下さい。 |
| 会員区分 （右欄該当の項目に○印） | 個人会員Ａ　　　　／　　　個人会員Ｂ |
|  |
| ※会員番号 |  | ※入会年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 | ※は事務局記入欄 |
|  |
| 注：既団体会員、その登録者であった方のお申込みは右欄に団体会員番号を記入してください | № |
| ふ り が な |  | 生年月日 | 昭和・平成 |
| **氏　　名** |  | 年　　月　　日生 |
| **勤 務 先** | 名　　称 |  | 部 署 名 |  |
| 住　　所 | 〒 |
| 電話番号 | （　　　　） | FAX番号 | （　　　　） |
| 勤務先業種（○で囲む） | 国・都道府県・市町村（一部事務組合）・維持管理業・処理処分業・民間企業・大学・その他の団体（　　　　　　　　）・その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| **自　　宅** | 住　　所 | 〒 |
| 電話番号 | （　　　　） | FAX番号 | （　　　　） |
| **E–mail** | 　　　　　　　　＠ | **当協会からの情報発信および　メールマガジン****配信のため使用させていただきます** |
| **会誌送付先** 右欄希望のお届け先に○印をして下さい。 | 上記の自宅 　/　 上記の勤務先 /　その他(下欄へ) |
| **年会費の請求書送付先**右欄希望のお届け先に○印をして下さい。 | 上記の自宅 　/　 上記の勤務先 /　その他(下欄へ) |
| その他送付先をご指定の場合ご記入下さい | 宛　　名 |  |
| 住　　所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| なお、ご入会者が技術管理者等である方はご面倒でも以下を記載ください。この個人情報は、ご指示のない限り直接ご本人であることが特定できる使用の仕方はいたしませんが、当協会の活動にあたって必要に応じて統計的な数値等として使用させていただきます。 |
| 資格等調べ(該当記号に○印) | **Ａ　廃棄物処理施設技術管理者**B欄もしくはC欄の該当する項目に印をして下さい。 |
| **Ｂ　厚生大臣認定講習修了者もしくは廃棄物処理施設技術管理士**以下の該当する資格ａ～ｇを○で囲み、認定・修了年月日および認定番号等を記入してください。 |
| aごみ処理施設技術管理（者）士 | 年　　月　　日認定・修了 | 認定等番号 |
| bし尿・汚泥再生処理施設技術管理（者）士 | 年　　月　　日認定・修了 | 認定等番号 |
| c 破砕・リサイクル施設技術管理士 | 年　　月　　日認定　　　 | 認定番号 |
| d 産業廃棄物中間処理施設技術管理（者）士 | 年　　月　　日認定・修了 | 認定等番号 |
| e 産業廃棄物焼却施設技術管理（者）士 | 年　　月　　日認定・修了 | 認定等番号 |
| f 最終処分場技術管理（者）士 | 年　　月　　日認定・修了 | 認定等番号 |
| g 有機性廃棄物資源化施設技術管理士 | 年　　月　　日認定　　　 | 認定番号 |
| **Ｃ　上記Ｂ以外の廃棄物処理法施行規則１７条第　　　号に該当する資格者** |
| **Ｄ　技術管理者および同資格者以外の者** |
|  |
| 備考欄：ご在会中に変更が生じた場合は、「個人会員変更届」で変更をお知らせください。https://jaem.or.jp/?page\_id=35注）本書に記載いただいた個人情報は、当協会の活動に係るご連絡用のみに使用させていただきますことを予めご了承ください。 |
| 連絡事項 |  |
|  | 23040103 |

**一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会**

**賛助会員入会申込書**

**※　太枠内をご記入下さい**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会員番号　\* |  | 入会年月日　\* | 年　　　　月　　　　日 | \*は事務局記入欄 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 団体の場合は団体名個人の場合は個人名 |  |
| 業種区分（○で囲む） | 国・都道府県・市町村（一部事務組合）・維持管理業・処理処分業・民間企業・大学・その他の団体（　　　　　　　　　）・その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 連絡先 | 〒 |
| 担当者氏名 |  | 部署名 |  |
| 電話番号 | （　　　　） | FAX番号 | 　　　（　　　　） |
| E-mail | 　　　　　　　　　　　＠　　　　　　　　　　 | **当協会からの情報発信および****メールマガジン配信のため使用させて頂きます** |
| 賛助会員費（年額） | ご賛助いただく該当口数に☑下さい[ ] 　一口　50,000円／ [ ] 　２口　100,000円／（　　）口　（　　　　　）円 |
| 賛助会費の請求先該当項目に☑下さい | [ ] 　上記連絡先あて[ ] 　上記連絡先以外（以下にその請求先をご記入ください。） |
| 請求書お宛名 |  |
| 請求書送付先 | 〒 |
| 機関紙「季刊　環境技術会誌」送付先該当項目に☑下さい | [ ] 　上記連絡先あて[ ] 　上記連絡先以外（以下にその送付先をご記入ください。） |
| 会誌送付先 | 〒 |
| 希望冊数 | 　　　　冊（上限は６冊までとなります） |
| ホームページ、会誌等に公表する賛助会員名簿に掲載する情報該当項目に☑下さい | 所在地 | [ ] 　上記連絡先に同じ[ ] 　上記連絡先以外（以下にその情報をご記入ください。）〒　 |
| 電話番号 | [ ] 　上記連絡先に同じ[ ] 　上記連絡先以外（以下にその情報をご記入ください。）℡　　　　　（　　　　） |
| 貴社ホームページへのリンク | リンク可の場合には下記にＵＲＬをお知らせ下さいhttps:// |
| 注）本書に記載いただいた個人情報は、当協会の活動に係るご連絡用のみに使用させていただきますことを予めご了承ください。23040103 |